

受 理 番 号	陳情第 4 号	受理年月日	平成 2 7 年 2 月 2 4 日
件 名	川内原子力発電所再稼働に関する陳情書		
陳 情 者	武藤 智子		
要 旨 2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所の事故により、立地自治体はもとより広い範囲で甚大な被害を受けた。あまりの被害のために十分な補償がされず、ほぼ4年を経る今でも十分な復興ができていない。福島在住の方の話では、長引く先の見えない暮らし、健康不安、補償の減額などますます苦しい状況を強いられているとのことである。 再稼働に向けて十分すぎるほどの対策とのことであるが、ますます火山活動が活発になる桜島やその他の火山など大規模な自然災害に対しては、人類がどんなに努力しようが太刀打ちできるものではないと思う。原子力規制委員会の田中委員長も「絶対安全とは言えない」、「地元は安全神話を卒業しないとイケない」と述べている。 老若男女全ての薩摩川内市民を代表する議会として、原発事故が起きていない今だからこそできることとして、下記について陳情する。 記 再稼働前に、国、九州電力、県、薩摩川内市長に対して、全ての薩摩川内市民の代表として、次のとおり、事故時の対応、事故後の補償等に係る明確な取り決めに要求すること。 1 再稼働に対し、全ての薩摩川内市民の意見を聴きそれに対応すること。 2 万が一の事故時に、全ての薩摩川内市民が安全に避難できる避難計画か否か検証すること。 3 煩雑な申請手続なしでの全ての薩摩川内市民への十分な補償予算を確保すること。 4 全ての市民の財産と安全が保障されるめどが立つまで再稼働をさせないこと。 5 万が一の事故時の具体的な責任者名と明確な責任の取り方について確認すること。			